

白井

なおこ

しらい

日野・生活者ネットワーク政策委員

レポート

<http://shirai.seikatsusha.me>



市民が育てる
日野・未来

●日野・生活者ネットワーク白井なおこの活動を紹介します。

まち 市民が育てる 日野・未来

私の活動の原点は、子育てと仕事の両立に苦しんだ自身の経験です。「パーソナル・イズ・ポリティカル」（個人的なことは政治的なこと）という言葉がありますが、一見個人的に見える問題は、実は社会的課題に通じていて、それを解決していくのが政治だと気づきました。

一方で、世の中で起きている社会的な課題に対して当事者意識を持つことの大切さも、原発事故以来、痛感しています。そのような視点で自分にできる活動を模索する中、「市民自治」をモットーに、独自のシステムで政治に参加する「生活者ネットワーク」に出会い、その活動に共感しました。私は、市民が当事者として、共に創り上げる市政を目指します。

●日野・生活者ネットワークは、
2018年2月に行われる日野市議会議員選挙に、
新人・白井なおこの擁立を決定しました

白井菜穂子（しらい なおこ）
プロフィール
■1971年10月 埼玉県に生まれる ■72年 日野市に転入 ■78年 光塩幼稚園卒園（日野市） ■84年 日野市立南平小学校卒業 ■87年 日本女子大学附属中学校卒業 ■90年 日本女子大学附属高等学校卒業 ■94年 日本女子大学人間社会学部現代社会学科卒業 卒業後、東京・福岡・京都で舞台芸術、文化事業、スポーツイベントなどの仕事に携わる ■2012年 滋賀県大津市に転居 大津市男女共同参画審議会公募委員 滋賀県嘉田知事（当時）主宰の未来政治塾に第1期生として学ぶ ■13年 日野市に転入 生活クラブ生協に加入。まち日野三沢コミュニティを立ち上げ、活動する ■14年 東京都児童福祉審議会公募委員
●高校1年生の時、日野市青年海外交流事業に参加（イギリス） ●13年、日野市へ転入後、同世代の母親たちとともに原発や憲法などの学習会、映画会を開催する
●現在、日野・生活者ネットワーク政策委員
●日野市三沢在住 ●家族：夫 息子（小学生）（旧姓 加藤）

応援します



白井
なおこ
さんを

嘉田由紀子

前滋賀県知事 / 未来政治塾塾長

私は2006年の夏、自民党・民主党・公明党推薦で三期目をめざす現職知事をやぶって滋賀県知事に選んでもらった。二期目は県政史上最大の42万票をいただいた。

私が徹底的にこだわったのは「政治は未来をつくる」という未来世代への責任だった。そこで2011年の東日本大震災直後に「未来政治塾」をつくった。860名の人が手をあげてくれた。女性が約4割、特に子育て中の女性が多かった。そこで託児所付きの政治塾とした。その政治塾の最優等生が白井なおこさんだった。田原総一郎さんや藻谷浩介さんなど第一線で活躍する講師陣の講義の前後に質問・感想文の宿題をだしたが、白井さんは必ず提出してきた。

なぜなら、白井さんは、子どもを授かったその時点で、個人的な課題こそ政治的な問題であることに気付いたからだ。この本質に気付いた白井さんは強い。ぶれずに、迷わされずに、きつと子育てや女性の問題、そして高齢者福祉や街づくりに悩む市民の皆さんの思いと願いに近い政治に挑戦してくれるはず。はるか滋賀県から応援しています。

海南 友子

ドキュメンタリー映画監督

谷 章子

つながるシネマの会

松浦真理子

大きなおなべの会

柳沢 典子

生活クラブまち日野・三沢コミュニティ

堀 利和

視覚障害者元参議院議員

山内れい子

東京都議会議員

執印真智子

元東京都議会議員

出沼恵美子

元日野市議会議員

古池 初美

前日野市議会議員

吉岡なつえ

日野市議会議員



▲ワークショップで政策づくりを進行する、政策委員の白井なおこ

声をお寄せいただき、実態を調査・研究、政策化し、実現に向けてのために活動しています。

これまで、市民の直接請求による日野市環境基本条例、ドッグランの設置や洪水ハザードマップの作成、福祉オンブズパーソンやスクールソーシャルワーカーの設置、LGBTへの配慮として性別欄の見直し、寡婦(夫)控除のみなし適用など、多くの「ひとこと」を日野市全体のまちづくりへと広げ、実現してきました。

私たちは、大事なことは、そこに暮らす人々が決めていくべきと考えています。「ひとこと提案運動」は、暮らしの中から見えてくる課題を市民のみなさんと話し合い、ときには直接一緒に担当部署へのヒアリングも行い、現地調査を実施します。行政も市民も共に知恵を出し合いながら、日野市のまちづくりを進めているのが、地域政党である生活者ネットワークです。

みなさんが日頃から感じていること、疑問に思っていること、市政への要望やご意見などを、白井なおこへ、お寄せください。

一緒にあなたの思いを実現しませんか。

■ あなたの「ひとこと」をお寄せください！

FAX 042-514-8697

E-mail hino-net@cap.ocn.ne.jp

ボタンタッチ!!

吉岡なつえ(現市議会議員)から、白井なおこに、ボタンタッチします。

●カンパとボランティアの政治活動を行っています。

●カンパはこちらをお願いします。

郵便振替口座

00160-7-562907

日野・生活者ネットワーク

「ひとこと」から始まるまちづくり

日野・生活者ネットワーク 白井なおこの提案

2018年市議選政策

すべてのひとの人権が保障されるまち

- 子どもが相談できる救済機関「子どもオンブズパーソン制度」をつくります
- 政策を決める場に、もっと女性を増やします

笑顔で子育て・介護ができるまち

- 希望するすべての保護者が、子どもを安心して預けられる多様な保育を展開します
- 在宅医療、在宅介護を支えるための体制を強化します
- 育児や介護中のひとと、仕事をあきらめずに済むよう環境を整えます

子どもがいそいそ育つまち

- 学童保育や児童館などの拡充とともに、子どもの多様な居場所を充実させます
- 学習支援やみんな食堂で、勉強がわかる喜びと食の楽しさを!

支え合う減災のまち

- 住民同士が交流できる防災教育・防災訓練を広げます

次世代のための持続可能なまち

- 公共施設に再生可能エネルギーを積極的に導入し、自治体発電事業で脱原発に取り組みます

市民が自治するまち

- 市民のアイデアや意見を、職員とともに形にする仕組みをつくります
- 市民と政治、社会との関わりを深めるシティズンシップ教育を推進します

気軽に出かけておしゃべりできるまち

- 空き家を活用した多世代が集える居場所をつくり、市民の知恵を活かした活動を支援します
- 地域公共交通網の充実で、交通空白地域を解消します

生活者ネット3つのルール

1

議員は交代制(ローテーション)

生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2

議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3

選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金(カンパ)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

